

ただいま入学を許可されました高等学校506名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学心よりお祝い申し上げます。コロナ禍の中PTA会長山崎裕^{やすひろ}広様、部活動後援会会長伊藤えみこ様のご臨席を賜り、第24回入学式を挙行できますこと、大変嬉しく思っております。

少子化の折、私立・公立とも入学定員を充足しない学校が多い中、午前に行われた中等部新入生162名を加え、中高合わせて668名という入学者数を得て、今年度をスタートすることができました。

私たちは大きな喜びと同時に、大変重い責任も感じています。価値ある感動に満ちた3年間にしていきたいと教職員一同決意を新たにしました次第です。

私は今から52年前の1970年にイタリア映画の「ひまわり」という映画を見ました。中学3年生でした。幸せな結婚生活をスタートさせたばかりの二人。しかし、ほどなく愛する夫は徴兵され極寒の戦地へ。戦争が終わっても夫は帰ってこない。戦死したのか？妻は生きていることを信じて、はるばるイタリアから愛する夫を、かつての戦地に、探しに出かけます。探し続け、たどり着いた地は広大な見渡すばかりのひまわり畑。「このひまわりの下には、多くの

捕虜や兵士が眠っている」と教えられます。美しいひまわりは戦争で命を落とした人々の墓標でもあるのです。そして、たどり着いた貧しい村で妻が見たものはなんだったのか。

私が人生で一番心動かされた映画です。そして、映画のラストシーンに映し出される果てしなく続くひまわり畑。いつか訪ねてみたいと願っていたそのひまわり畑は、今、戦禍で苦しんでいるウクライナのヘルソンという地であるという事実には愕然としました。

皆さんはなぜ、本校を選んだのでしょうか。そこには明確な意思と理由、求めるものがあつたからだと思います。この学校でなら自分の夢や希望を実現できるのではないか、あるいは、今は漠然としていてはつきりと見えなくても何か自分の将来の夢を見つけることができるのではないかと考えて本校を選んだのではないのでしょうか。

けれども夢や希望は向こうから歩いては来てくれません。皆さんが求めるのなら、自分から夢や希望に向かって歩いて行ってください。夢や希望は与えられるものではなく、つかみ取るものだからです。では、どのような方法でつかみ取るのか、それを一緒に考えていくのが私たち教師であり、それを応援するのが今後ろに座っておられる保護者の皆様なのです。

安易に手にすることができるものを夢とは言いません。日々の汗と涙を積み重ねても手にできないかもしれない、それが夢や希望と呼ばれるものの正体かもしれないのです。しかし、すべての人が夢や希望を手にするという成功は得られないかもしれませんが、成長は手にすることができるはずです。成長を手にすることができたらそれは自信になります。これからの人生を生きる活力にもなると思うのです。

今そこに座っている仲間達と一緒に学び、部活動やクラス行事に汗を流してください。そして、青春をエンジョイしてください。エンジョイ「楽しむ」ということです。しかし、楽しむためには楽をしてはいけません。楽をすればするほど皆さんの楽しい高校生活は遠ざかっていきます。どうか、頭にも心にも体にも汗をかいてかけがえのない二度と戻ってこない青春時代を駆け抜けてください。

そして、それは同時に映画「ひまわり」のような世界、戦争で愛する人々、家族が引き裂かれるような世界では、夢を追いかけるなどということとはできないことを皆さんにも知ってほしいのです。

青春を楽しむと同時に楽しむことができる環境、希望ある世界を作り上げる使命が皆さんにあるということを忘れないでください。

そのために学ぶのです。私たちが守らなければならないものは、自由、平等、平和です。この3つのことが成り立って、初めて幸福は訪れます。皆さんには自由で平等で平和な社会を作るという大きな責任があります。どうかその自覚をもって幸福な社会を作るためにはどうすればよいのかを学ぶ3年間であって欲しいと願います。

そして、物事を二つの軸、縦軸と横軸で考えて下さい。

縦軸とは歴史です。人類が歴史の中でどのように進歩し生きてきたか、また愚かしいことを繰り返してきたか。歴史から我々は学ぶ必要があります。今の生活をどうしたらよいか、それは時には過去の歴史が答えを教えてくれることもあるでしょう。SDGSの運動は過去の地球の負の遺産を、何とか未来に残さないための世界的な運動と言えます。もちろん、医学や科学の歴史的な進歩で私たちの生活が格段に豊かになった現実も忘れてはなりません。

横軸は今の我々の世界です。地球は大きく広い、しかし、地球は小さく狭くなってきています。それをコロナウィルスは教えてくれました。コロナウィルスはわずか数ヶ月で世界中を席卷し各国をパニックに陥れました。人やモノ、お金、情報が国境を越えて自由に行き来し、世界の人々は相互依存の中で生きているということです。今後、

益々相互依存は深まり、日本だけで生きていける時代ではなくなります。横のつながり、世界の人々とつながって生きている、生きていくのだという強い思いをもって、日々歩む必要があると思います。

満開の桜の下、碧く光る太平洋と秀麗富士がみなさんの門出をお祝いしています。素晴らしい学校生活となることを、祈念いたしまして「告辞」といたします。入学おめでとう。